

令和 8 年度(2026 年度)第 1 回箕面市生涯学習審議会

次 第

日時:令和 8 年 7 月 6 日(月)午後 2 時～

場所:箕面市役所本館 2 階特別会議室

1. 開会
2. 会長の選出について
3. 箕面市生涯学習審議会について【報告】
4. 令和 8 年度 生涯学習に係る主な取り組みについて【報告】
5. 「アートによるまちづくり」について【協議】
6. その他（諸連絡）
7. 閉会

箕面市生涯学習審議会委員（任期：R8.6.1～R10.5.31）

	選出区分	氏名	ふりがな	所属(推薦母体等)
1	一号委員 (学校教育の関係者)	山下 純	やました じゅん	箕面市立小中学校校長会
2	二号委員 (生涯学習又は社会教育の関係者)	須貝 昭子	すがい あきこ	箕面市社会福祉協議会
3		森 七恵	もり ななえ	箕面市メイプル文化財団
4		池上 美津子	いけがみ みつこ	生涯学習センター利用者グループ協議会
5		九後 稔	くご みのる	箕面市美術協会
6		岩重 敏子	いわしげ としこ	おはなしグループ みのむし
7		沖 明博	おき あきひろ	箕面市体育連盟
8		入江 真理子	いりえ まりこ	箕面市青少年を守る会連絡協議会
9	三号委員 (家庭教育の向上に資する活動を行う者)	葛原 由香里	くずはら ゆかり	箕面市PTA連絡協議会
10	四号委員 (学識経験者)	野崎 洋司	のざき ひろし	大和大学
11		小倉 嘉夫	おぐら よしお	大阪青山大学
12	五号委員 (市民)	中西 深雪	なかにし みゆき	公募市民
13		吉野 友美	よしの ともみ	公募市民

令和 8 年度第 1 回 箕面市生涯学習審議会	資料番号 1
令和 8 年 7 月 6 日	

箕面市生涯学習審議会について

1 箕面市生涯学習審議会とは

- ・ 地方自治法及び箕面市生涯学習審議会条例（以下、条例）の規定に基づき設置された箕面市の附属機関（※）で、生涯学習に関する施策を市としてどのように進めていくかを審議いただく場です。

〔※行政が重要な政策を決定・執行する際に、外部の専門家や市民の意見を反映させたり、専門的な調査・審議を行ったりするために設置される合議制の機関のこと。〕

- ・ 委員は、生涯学習に資するための施策の総合的な推進に関する事項について、市長や教育委員会からの諮問に応じて調査・審議し、その結果を答申します。また、審議会から市長や教育委員会に対して、生涯学習の振興について自発的に意見を提出することもできます。
- ・ 委員は、条例第 4 条に基づき、次の 5 つの区分から選ばれた委員で構成されます。

一号委員	学校教育の関係者
二号委員	生涯学習又は社会教育の関係者
三号委員	家庭教育の向上に資する活動を行う者
四号委員	学識経験者
五号委員	公募市民

※委員数：計 13 名

※任 期：令和 8 年 6 月 1 日から令和 10 年 5 月 31 日（2 年間）

2 令和 8 年度からの変更点について

これまで、生涯学習審議会とは別に、社会教育に関する計画の立案に関する教育委員会への助言や、諮問に応じて意見を述べる附属機関として「箕面市社会教育委員会」を設置していましたが、概念上、社会教育は生涯学習の一部に含まれることや、令和 8 年 4 月の機構改革により生涯学習部門が市長部局に移管することから、両者を一体化し、生涯学習施策のより一層の推進や行政の効率化を図ることとしました。

	令和 7 年度まで	令和 8 年度から
所管組織	教育委員会事務局	市長部局
審議会	・ 生涯学習審議会 ・ 社会教育委員会	生涯学習審議会に統合

(参考) 箕面市生涯学習審議会条例 抜粋（審議会所掌事務）

(所掌事務)

第二条 審議会は、市長又は箕面市教育委員会（以下「委員会」という。）の諮問に応じ、生涯学習に資するための施策の総合的な推進に関する事項及び社会教育法（昭和二十四年法律第二百七号）第十三条に規定する社会教育に係る補助金の交付に関する事項を調査審議し、その意見を答申するものとする。

2 審議会は、社会教育法第十七条第一項各号に掲げる事務を行うものとする。

（社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会からの諮問に対する意見等）

3 審議会は、生涯学習の振興に関し、市長又は委員会に意見を申し出ることができる。

(参考) 過去の審議状況

年度	日程	審議会・会議	主な審議内容
R6年度	R6.7.5	【合同開催】 第1回生涯学習審議会 第1回社会教育委員会議	・生涯学習審議会の会長、副会長の選出について ・箕面市生涯学習審議会・箕面市社会教育委員会議の合同開催について ・令和6年度当初予算（生涯学習）について ・箕面市生涯学習指針の実績報告および更新について
	R7.2.21	【合同開催】 第2回生涯学習審議会 第2回社会教育委員会議	・箕面市生涯学習指針（2022-2024）の改訂について
R7年度	R7.7.25	【合同開催】 第1回生涯学習審議会 第1回社会教育委員会議	・生涯学習審議会の会長の選出について ・箕面市生涯学習審議会・箕面市社会教育委員会議の合同開催について ・箕面市生涯学習指針について ・令和7年度当初予算（生涯学習）について （生涯学習指針改訂にともなう各室による重点施策の説明） ・研修「自然災害と生涯学習・社会教育」
	R7.12.4	第2回社会教育委員会議	・箕面市社会教育委員会議の廃止について ・市の機構改革について ・社会教育委員会議と生涯学習審議会の統合案について ・今後の本市生涯学習・社会教育の推進にむけた研究課題の検討について
	R8.3.17	第3回社会教育委員会議	・来年度事務局の体制について ・協議 「まちの未来像を考える」 「生涯学習分野での推進方策を考える」

令和 8 年度 生涯学習に係る主な取り組み

①KTV スイミングパーク箕面オープン（スポーツ振興課）

令和 8 年 6 月 6 日（土曜日）、箕面市立第二総合運動場に新たな市民温水プールがグランドオープンしました。

小学校の水泳授業だけでなく、子どもから高齢者まで幅広い世代が利用できる施設として、市民の皆さまの体力向上や健康増進に寄与するとともに、第二総合運動場と連携して活用することで、施設周辺の地域の魅力向上にもつなげます。



②本のまち箕面の取組（中央図書館）

“本のまち”を目指して、利用者・貸出冊数の増加に取り組めます。

著名作家による講演会の開催やオーサービジットの実施など、より多くの方が図書館で本を借りたくなる、読書の楽しさに触れられる取り組みを進めていきます。また、新たに、中央図書館では夏休み期間中に、ボードゲームや図書館ビンゴのイベントなど、親子で参加できるイベントを企画していきます。



③箕面市アートプロジェクト（アート・文化財課）

アートが日常に溶け込み、誰もが文化芸術を身近に感じられる空間を創出することで、まちの魅力とブランド力をさらに高め、箕面市が“アートのまち”であることを発信していきます。

公共施設を活用したアート作品の展示や、アートに関するシンポジウムの開催、パブリックアートの設置、駅前野外ステージを市民の音楽やダンスの発表の場として提供するとともに、箕面市民展や箕面アートフェス、ミューラルアートコンペの開催などを通じて、アートに溢れた空間を創出し、「アートのまち箕面」の確立を進めます。



6/6±・7日は 「ふれあいどうぶつ村」で遊ぼう!

ヤギやウサギ、ヒヨコ、リクガメなど、10種以上の動物が親水広場に大集合。実際に触って楽しく遊べます。
図3歳以上(3歳～5歳は保護者同伴) 図6月6日(土)・7日(日)午前10時～午後3時 図同パーク親水広場
■無料



さらに!

ピエロによる
パフォーマンスショー&
グリーティングもあり!
グルメ&デザート
のキッチンカーも
登場します♪

親水広場

築山の傾斜が楽しい親水広場は、子どもたちにとって最高の遊び場。ボタンを押すと涼しげなミストが噴射される遊具もあります。たくさん遊んで、キラキラの思い出を作ろう!



サウナ・ととのいデッキ

一般的な温浴施設と同等温度に設定した本格サウナと、デッキチェアを置いた屋外のウッドデッキスペースで心身ともにリフレッシュ! 青空の下で「ととのい」心地よさは、一度味わったらクセになるかも!?



メインプール

(25m×6レーン、水深110cm)

幼児用プール(水深70cm)

雨の日も猛暑の日も、屋内プールならいつでも快適! 平日夕方、土・日曜日午前にはスイミングスクール*も開講します。また、メインプールと一体的に配置した幼児用プールは、お子さんのプールデビューにぴったり。2つのプールを結ぶように、手すり付きの水中スロープを設置しています。
※多彩なカリキュラムで、初めての子どもさんも安心して通えます。詳しくは左ページ下のQRコードから。

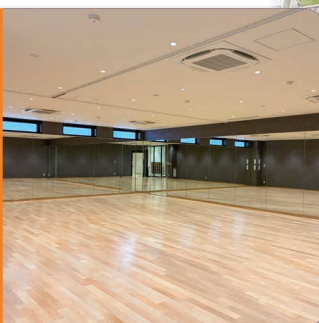
KTV スイミング パーク箕面 へ行こう!

6/6±
GRAND
OPEN

図KTVスイミングパーク箕面 ☎729・4560
スポーツ振興課 ☎724・6998 図722・7655

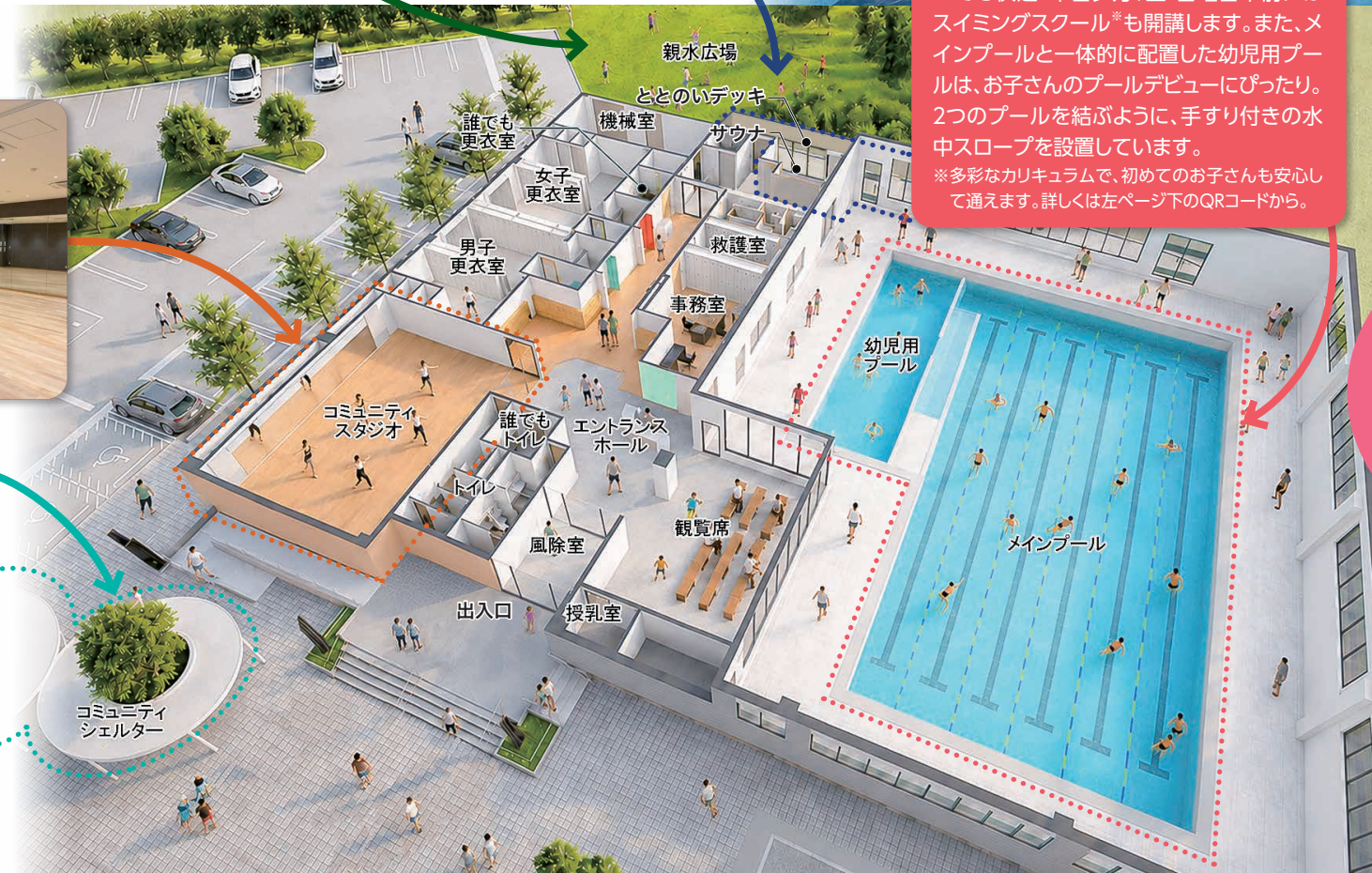
コミュニティスタジオ

2面に大型ミラーを設置した同スタジオでは、ヨガやストレッチなど多彩なプログラムを開催予定! みんなで一緒に、心も体もアクティブに動かそう! 各種プログラムについて、詳しくは下記QRコードをご覧ください。



コミュニティシェルター

ドーナツ型の屋根が印象的な2基のコミュニティシェルターは、たくさん泳いだり遊んだりした後に一休みできる憩いのスポットです。



料金	
高校生以上	600円
小・中学生	300円
3歳～未就学児	200円
3歳未満	無料

	開館時間	一般利用時間(6月～12月)
平日	午前10時～午後9時	午後6時～9時
土曜日	午前9時～午後8時	午後1時～8時
日曜日	午前9時～午後7時	正午～午後7時
土・日曜日以外の祝日	午前10時～午後6時	午前10時～午後6時

■1月～5月の一般利用時間については左記QRコードをご覧ください。

■主な利用ルール・注意事項

- 小学3年生以下は保護者(高校生以上)同伴で入場。プール利用時は、保護者も一緒に入水してください。
- プール利用時はスイムキャップを着用してください。
- プール内やプールサイドでの飲食禁止。水分補給は水のみ可能です。
- 浮き具は100cm以下の浮き輪のみ、遊具はビーチボールのみ使用可(状況に応じて使用を制限する場合があります)。エアーマット、ボート型浮き具、幼児用の水遊びおもちゃなどは使用できません。



その他、詳しくは
同パークホームページ
(QRコード)をご覧ください。

利用DATA

KTVスイミングパーク箕面 (粟生外院1-1-1)

- 火曜日休館(祝日の場合は開館)



※東側からお越しの場合、国道171号からの右折入場はお控えください(第二総合運動場外周路から入場してください)。

近年の厳しい暑さの中でも安心して水泳授業が行える学びの場として、また市民のみなさんが一年を通して健康を育める拠点として、第二総合運動場にいよいよ屋内温水プールが誕生します!

25m×6レーンの「メインプール」や「幼児用プール」のほか、心身ともにリフレッシュできる「サウナ・ととのいデッキ」、屋外にはミスト遊具が楽しい「親水広場」があります。122台収容の広大な駐車場も完備しています。ぜひご利用ください!



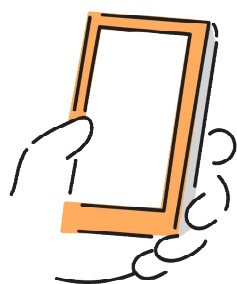
6月6日(土)・7日(日)は事前申込制のオープニングイベント開催のため、プールなどの屋内施設は利用できません。同日に屋外で開催する「ふれあいどうぶつ村」(左ページ上参照)は申込不要ですので、ぜひお越しください。

【お願い】学校水泳実施に伴う一般利用時間の設定について

同パークでは、6月～12月にかけて約6,000人に及ぶ市内小学生の水泳授業を実施する予定です。学校水泳の実施期間中は、一般のご利用を制限します。土・日曜日、祝・休日、夜間、春・夏休みなどを中心に、一般利用時間を設定しますので、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

未定稿

読むだけじゃない
暮らしが広がる
図書館へ



貸出券を持ち歩かなくても、
スマートフォンで貸出ができます！

あらかじめ利用登録・パスワードの設定が必要です。
詳しくは右のQRコードからご確認ください。



箕面市立図書館

電話：072-722-4580 FAX：072-724-9697



図書館のホームページも
チェック！

<https://www.city.minoh.lg.jp/library/>

【中央図書館】

暮らしに役立つ情報やイベントが盛りだくさん！

未定稿

はじめてのおはなし会・おはなし会

絵本の読み聞かせや手あそびなどおたのしみいっぱい！

- はじめてのおはなし会 第1・第3木曜日、第4火曜日 午前11時～
- おはなし会 第2土曜日 午前10時30分～

詳しくは右のQRコードからご確認ください。



いきいきシニアライフコーナー

シニア世代の健康・食事・運動・趣味・ライフスタイル・旅行・年金・デジタル活用など、日々の生活をより豊かにするための知識やアイデアを提供する、さまざまなジャンルの本を集めています。

箕面市では市内5箇所で「運動トレーナーによるシニア向け体操指導」を行っています。お気軽にご参加ください。詳しくは右のQRコードからご確認ください。



話題の本

予約が多く、なかなか手に取っていただけない本を館内でお読みいただけるコーナーを、中央図書館入口付近に設置しました。話題の本を実際に手に取っていただけます。

※貸出はできません。貸出をご希望のかたはご予約ください。

右のQRコードから「話題の本」リストをご覧ください。
(リストは随時変更されます)



電子書籍・オーディオブック

インターネットに接続したパソコンやスマートフォン、タブレットなどを使って、無料で簡単に利用できます。市立図書館のウェブページから24時間いつでも利用できます。

※あらかじめ利用登録・パスワードの設定が必要です。
詳しくは左のQRコードからご確認ください。



箕面市アートプロジェクト

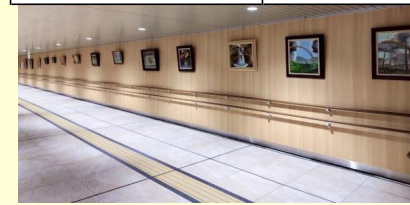
01 アート作品の展示

市役所や生涯学習センター、箕面船場阪大前駅コンコース等にアート作品を展示

- ➡【令和8年度】予算額 600千円
プロアーティストの作品を展示。みのお選抜美術展や箕面市民展の最優秀作品、優秀作品を借用し、展示数増をめざす。

令和8年度第1回
箕面市生涯学習審議会
令和8年7月6日

資料番号2の
参考資料③



02 みんなのステージ

市内駅前ステージ3カ所を無料で貸し出し（月3回土・日）、音楽やパフォーマンスなどのステージ発表を応援。
ローカルFM「タッキー816みのおFM」との共催事業。

- ➡【令和8年度】予算額 224千円 継続実施予定。



03 箕面アートフェス

「多様な人々が交わり創造する協奏のまちづくり」をテーマにアートに関するワークショップ等を令和5年度から開催。WS対象者：小・中・高校生

- ➡【令和8年度】予算額 1,350千円 ミュールアートWSを開催予定。



04 箕面市民展

市民が誰でも参加できる美術展を開催することで、豊かな市民文化を育み、個性あふれる生涯学習社会の実現をめざす。今年度で69回目。

- ➡【令和8年度】予算額 1,670千円 継続実施予定。



NEW

05 ミュールアートコンペ

大阪成蹊大学芸術学部との連携事業

【令和8年度 予算額2,000千円】「文化・芸術のまち箕面」のブランド化をめざし、箕面船場阪大前駅周辺を中心に、箕面船場をテーマにミュールアートのコンペを開催し、優秀作品を実際にまちなかの壁に制作することで、アートのまちづくりの象徴とする。

(案)

箕面・アートのちから構想

- みどりとアートが相乗しあうまち・箕面 -

1910年の阪急電車開通以来、住宅都市として着実に発展を遂げてきた箕面市。2024年には北大阪急行線の延伸により、まちはさらなる転換点を迎えました。

この歴史的な交通インフラの刷新を契機として、豊かな自然と調和する「アート」を核とした独自のまちづくりを推進し、多様な人々が感性を響かせ合いながら持続的に発展する未来都市をめざします。

1. 構想の趣旨

箕面市は、豊かな自然と歴史に育まれた「文化の郷」として箕面市歌にも謳われ、長年にわたり市民のアイデンティティを醸成してきました。2025 年に開催した大阪・関西万博、そして市制施行 70 周年という歴史的な節目は、本市が培ってきた文化的ポテンシャルを、次世代の未来社会へとつなぐ絶好の契機となります。

本構想は、これまで地域を彩ってきた美術をはじめとする多様な文化芸術の力を核とし、市民、クリエイター、そして国内外からの来訪者といった「多様な人々が交わり創造する協奏のまちづくり」を目指すものです。

この協奏の姿は、まちの豊かな自然と人の和を讃えた精神にも深く響き合うものです。多様な感性がオーケストラのように響き合い、新たな価値を生み出し続ける、心豊かな未来の箕面を創造するために、ここに「アートによるまちづくり構想」を策定します。

2. 市民が感じられる箕面らしさ×アートのちから 4つの柱

この構想でこれから進めようとしている『アートのまちづくり』は、単に新しい美術館を建てるような、『芸術振興』にとどまりません。

主役となるのは、この地でしか感じられない『箕面らしさ』を強く意識したアートの展開です。『自然と文化が暮らしのすぐそばに息づいている心地よさ』をアイデンティティに、次の4つの柱でアートのまちづくりを推進します。

(1)包み込む「静」けさの自然×アート

古くから人々を惹きつけてきた明治の森箕面国定公園の深い緑、箕面大滝の音、四季折々の美しい移ろい。これら自然と調和し、五感で感じるアートを展開します。

(2)「動」く都市×アート

北大阪急行線の延伸により萱野と船場が生まれ替わるとともに、これまでの住宅都市というブランドが息づくまち。まちなかの公園、歩道、公共施設など日常の動線にパブリックアート等を配置します。暮らしに芸術的な感性と豊かさを加えるとともに、思わず歩き回りたくなるまちをめざします。

(3)「継」承してきた歴史×アート

古くから修験道の聖地や霊場として人々の祈りを受け止めてきた歴史と、住宅都市として発展してきた近代化の歴史。これらを礎に、歴史と文化が融合したアート空間を創出します。

(4)「知」を育む環境×アート

子どもも大人も共に学び生涯にわたり成長する、知的好奇心溢れるまちへ。周辺大学との連携により「知」のリソースを結び、クリエイティブな土壌を整備するとともにアートを通じて様々な価値観に触れ、新たな発見や共に生きる喜びを味わいます。

3. 構想のコア・コンセプト「やっぱり箕面はいいな」

本構想の根底にあるのは、この豊かな『箕面らしさ』という土壌の上に、アートという新たなエッセンスを掛け合わせる試みです。新しい箕面、でも昔から美しい。そこに、アートが持つちからによって、私たちが普段見慣れている景色や歴史の魅力を再発見し、市民一人ひとりが『やっぱり箕面はいいな』と主観的に感じられる、そんな心豊かなまちを皆さんと一緒に創り上げていきたいという思いから、

箕面・アートのちから構想

ーみどりとアートが相乗しあうまち・箕面ー

をコア・コンセプトとします。

(案)

箕面・アートのちから構想

－みどりとアートが相乗しあうまち・箕面－



箕面市誕生



北大阪急行線の延伸

新たな動線の誕生と
インフラの刷新

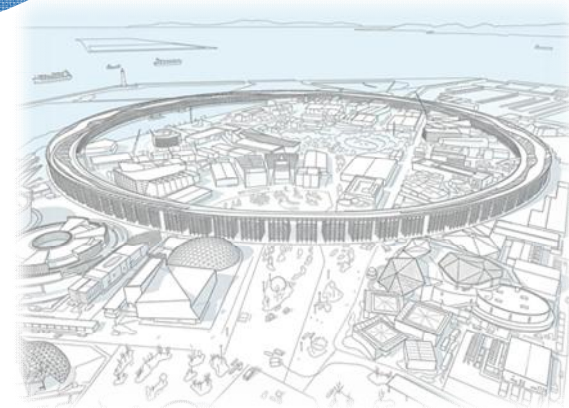
市制施行70周年

文化の郷としての
歴史的節目

新たな都市の 玄関口

2025年大阪・関西万博

世界的な文化の祭典の
レガシーの活用

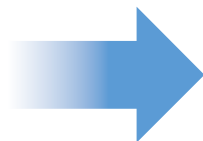


これら3つの要素が交わる今、
箕面が培ってきた文化的ポテンシャルを「次世代の未来都市」へと
昇華させる絶好の契機です。

単独の文化政策

「アートがちから」を活かしたまちづくり

- ・新しい美術館の建設
- ・日常から切り離された鑑賞



空間の拡張： 公園や駅などの動線に溶け込むパブリックアートの設置

人の交わり： 市民、クリエイター、市内外からの来訪者等、多様な人々が交流する取り組みの実施

価値の増幅： 箕面市の大きな魅力である自然や歴史との相乗効果による価値の向上

アートのちからで「箕面らしさ」を増幅させる取り組みを進めます。



【静】

包み込む自然×アート

明治の森箕面国定公園や箕面大滝など、四季折々の美しい移ろい。自然と深く調和し、五感で感じられるアートを展開。

【動】

動く都市×アート

北急延伸で生まれ変わる萱野や船場。毎日の通勤や生活の風景、日常の動線に芸術的な感性と豊かさを取り入れ、思わず歩きたくなるまちへ。



アートで 増幅する 箕面らしさ

【継】

継承してきた歴史×アート

修験道の聖地としての歴史から近代の住宅・観光都市としての歩みまで。蓄積された歴史と文化がアートと融合した空間創出。

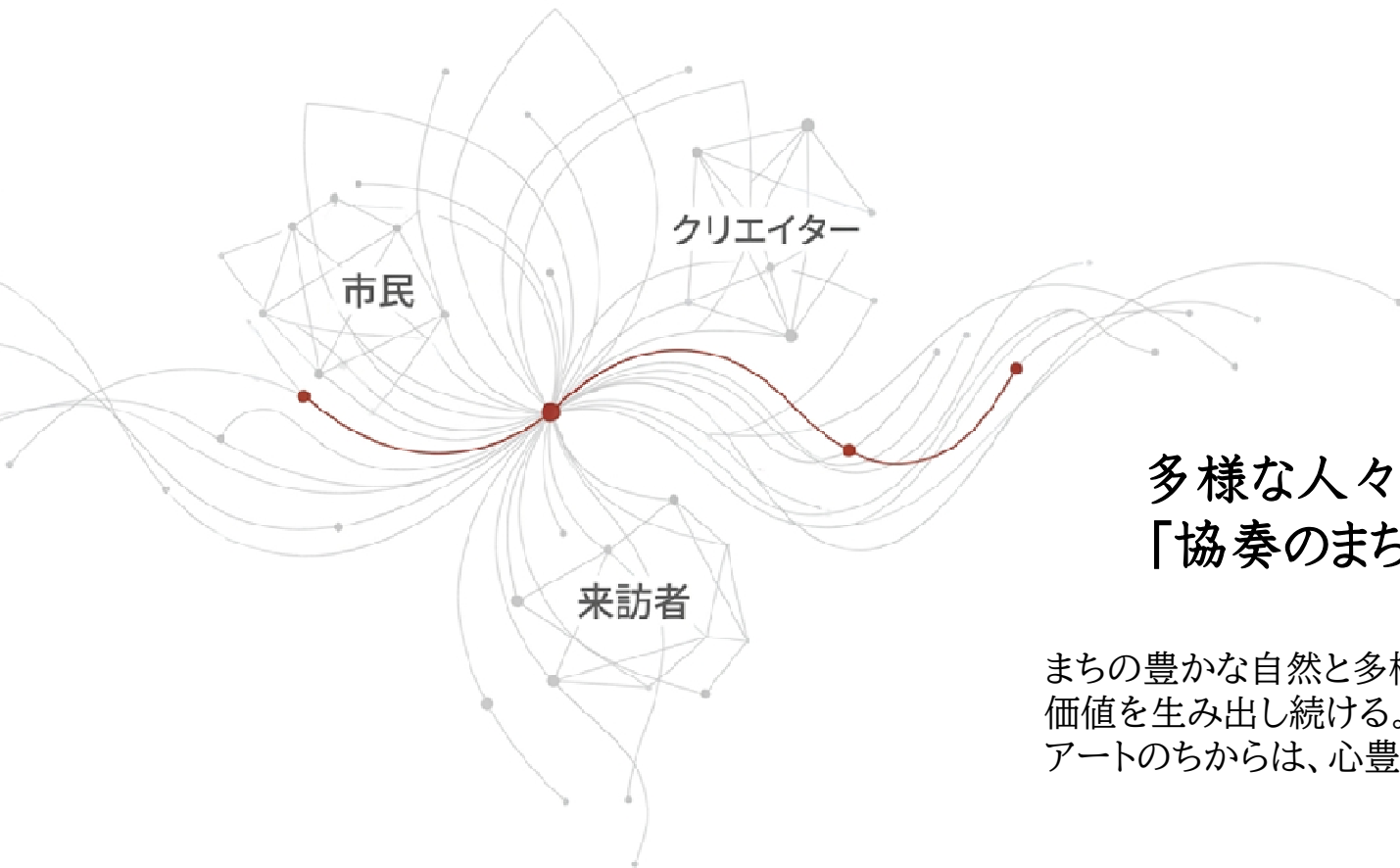


【知】

知を育む環境×アート

周辺大学との連携。「知」のリソースを繋ぎ合わせ、クリエイティブな土壌を整備し、共に生きる喜びを分かち合うプラットフォームへ。





多様な人々が交わり創造する 「協奏のまちづくり」

まちの豊かな自然と多様な人々の感性が響き合い、新たな価値を生み出し続ける。
アートのちからは、心豊かな未来の箕面を創造します。

「やっぱり箕面はいいな」

この誇りと愛着を市民一人ひとりの心に生み出すことをめざします。

令和 8 年度第 1 回 箕面市生涯学習審議会	資料番号 5
令和 8 年 7 月 6 日	

箕面市における美術展開催について

●箕面市民展について

- ・「市民が誰でも参加できる美術展を開催することで、豊かな市民文化を育み、個性あふれる生涯学習社会の実現をめざす。」という開催の趣旨のもと実施し、市民に芸術作品の発表及び鑑賞の機会を提供し、「文化・芸術のまち箕面」を推進することを目的として行ってきた。
- ・昭和 33 年(1958 年)に第1回市民展が開催され、今年度令和 8 年(2026 年)で 69 回目の開催となる。
- ・主催は、箕面市、箕面市教育委員会、箕面市美術協会の3者共催で行っている。
- ・応募された作品はすべて展示され、その中の優秀な作品には、最優秀賞ほかの賞が授与される。
- ・例年 10 月末～11 月上旬に開催。
- ・令和5年までは箕面文化・交流センター(サンプラザ 1 号館)にて開催していたが、閉館後は、箕面文化・交流センター南館(旧なか幼稚園)にて開催している。

●箕面市民選抜美術展について

- ・「市の美術活動の質的向上と芸術文化の振興を図る」という開催の趣旨のもと実施し、質の高い作品の鑑賞機会を市民に提供し、市民の芸術文化に対する高揚を図ることを目的として行ってきた。
- ・平成 14 年(2002 年)に第1回箕面市民選抜美術展が開催され、令和 8 年(2026 年)で 25 回目の開催となる。
- ・主催は開催当初は箕面市教育委員会が行い、平成 21 年度からは、箕面市美術協会とメイプル文化財団の共催での開催となり、現在に至る。
- ・展覧会の質の高揚のため、応募された出展作品のうち、基準に達した作品のみを選抜し展示する手法を取っている。さらにその中の優秀な作品には、最優秀賞ほかの賞が授与される。
- ・例年2月中旬に開催。
- ・出展者数の減少とともに、入選率がほぼ 100%近くとなっており、市民展との棲み分けができていない現状から、本年度の第 25 回の開催をもって、終了す方針が決まった。

●共通する課題について

- ・出展者、観覧者ともに高齢化しており、その数が減少している。
- ・選抜美術展の開催が終了することにより、芸術文化の振興のための新たな方策が必要。

●両美術展の比較

	市民展	選抜美術展
展示方式	応募作品はすべて展示。	応募作品のうち基準に達した作品のみ展示。
応募資格	【共通】箕面市内に在住、在職または在学の満 15 歳以上のかた(中学生を除く。市内で活動している各部門の教室・サークルの所属等のかたを含む)	
出品料	無料	作品 1 点 1,000 円(学生 500 円)、2 点 2,000 円(学生 1,000 円)
作品部門	【共通】絵画・彫塑、書、写真、工芸	
開催場所	【共通】箕面文化・交流センター南館(旧なか幼稚園)	

●両美術展の出品点数と来場者数の推移

<市民展>	R3	R4	R5	R6	R7
絵画・彫塑	107 点	110 点	102 点	84 点	68 点
写真	61 点	61 点	50 点	52 点	44 点
工芸	49 点	52 点	39 点	41 点	35 点
書	39 点	43 点	30 点	29 点	29 点
合計	256 点	266 点	221 点	206 点	176 点
前年比	—	3.9%増	16.9%減	6.8%減	14.6%減
来場者数	1,747 人	1,568 人	1,410 人	1,212 人	1,025 人

<選抜展>	R3	R4	R5	R6	R7
絵画・彫塑	コロナ禍により中止	28 点	28 点	23 点	20 点
写真		28 点	21 点	17 点	23 点
工芸		17 点	10 点	17 点	17 点
書		12 点	10 点	6 点	10 点
合計		85 点	69 点	63 点	70 点
前年比		—	18.8%減	8.7%減	11.1%増
入選率		92%	92%	94%	97%

※過去最大出展数は、平成 21 年度(2009 年度)の 150 点。(入選率は 69%)

第68回全国社会教育研究大会

大阪大会 OSAKA来てな!

令和8年度近畿地区社会教育研究大会[大阪大会]

令和8年度大阪府社会教育研究会議



©2014 大阪府もずやん

研究主題

多様な人材・資源をつなげる社会教育

学びを社会の活力に

学ぶってオモロイやん
つながるってええやん
地域のことはまかしとき

大会スローガン



写真提供: 岸和田市

写真提供: 国土交通省

開催期間

令和8年10月28日(水) ▶ 30日(金)

会場

大阪府庁咲洲庁舎、国際障害者交流センター ビッグ・アイ
新梅田研修センター、大阪府立中之島図書館



募集要項はこちら

1 大会日程

1日目 10/28 (水)						全国社会教育 委員連合 理事会 14:00 ~ 15:30		都道府県・政令指定都市 社会教育委員連絡協議会等 事務局担当者会議 16:00 ~ 17:30		
2日目 10/29 (木)		全国社会 教育委員 連合総会 10:00 ~ 11:30		受付 12:00 ~ 13:00	アトラクション 13:00 ~ 13:30	開催行事 表彰式 13:30 ~ 14:20	記念講演 14:30 ~ 15:40	シンポジウム 15:50 ~ 17:10	閉会行事 17:30 終了	情報交換会 19:00 ~ 21:00
3日目 10/30 (金)	受付 分科会 打合せ 9:00 ~	分科会 9:30 ~ 12:00								

2 会 場

1 目	理事会・担当者会 会場名：大阪府庁咲洲庁舎 住 所：大阪市住之江区南港北 1-14-16	最寄り駅 Osaka Metro 南港ポートタウン線 「トレードセンター前」駅
2 目	総会・全体会（※総会は関係者のみ） 会場名：国際障害者交流センター ビッグ・アイ 住 所：堺市南区茶山台 1-8-1 情報交換会 会場名：グレースバリなんば道頓堀店 住 所：大阪市中央区道頓堀1-4-27 道頓堀ベニスビル1 6階 ルフル	最寄り駅 南海泉北線「泉ヶ丘」駅 最寄り駅 南海本線、高野線「なんば」駅 Osaka Metro 御堂筋線「なんば」駅 Osaka Metro 千日前線・堺筋線「日本橋駅」
3 目	第1～第5分科会 会場名：新梅田研修センター 住 所：大阪市福島区福島 6-23-8 第6分科会 会場名：大阪府立中之島図書館 住 所：大阪市北区中之島 1-2-10	最寄り駅 JR 東海道本線「大阪」駅、環状線「福島」駅 Osaka Metro 御堂筋線「梅田」駅、谷町線「東梅田」駅 阪急「大阪梅田」駅 最寄り駅 Osaka Metro 御堂筋線「淀屋橋」駅 京阪本線「淀屋橋」駅 京阪中之島線「大江橋」駅、「なにわ橋」駅

3 対 象

都道府県・政令指定都市・市町村社会教育委員及び社会教育関係者、社会教育関係団体、社会教育士、社会教育に関わる学生、その他生涯学習・社会教育に関心のある方

4 参加費

一人 5,000 円

5 全体会【10月29日(木)】

12:00 ~ 13:00 … 受付
 13:00 ~ 13:30 … アトラクション「火縄銃演武」堺火縄銃保存会
 13:30 ~ 14:20 … 開会行事・表彰式
 14:30 ~ 15:40 … 記 念 講 演「夢と冒険 ～モンベル7つのミッション～」
 株式会社モンベル代表取締役会長 辰野 勇 氏
 15:50 ~ 17:10 … シンポジウム「多様な人材・資源で創る地域の未来 ～もっと社会教育をオモロくするために～」
 コメンテーター：吉本興業所属・住みます芸人 span!
 17:10 ~ 17:30 … 閉会行事

6 情報交換会【10月29日(木)】

19:00 ~ 21:00 … 情報交換会（受付 18:30 ~）
 会 場：グレースバリなんば道頓堀店（大阪市中央区道頓堀1-4-27 道頓堀ベニスビル1 6階 ルフル）
 参加費：5,000 円 ※大会参加費とは別途必要

7 分科会【10月30日(金)】**第1～5分科会** 会場：新梅田研修センター

第1分科会	社会教育委員の役割【兵庫県】
テーマ	社会教育委員のネットワークの意義 ～子どもの生きる力を育む地域教育と社会教育委員の果たす役割～
概要	兵庫県阪神北地区社会教育委員協議会では、例年、年間研究テーマを設定し、研修会等を行っている。今回は「子どもの生きる力を育む地域教育」を発表題として、各市町の社会教育委員による特徴的な取組事例を報告する。事例発表を通じて、複数の自治体の社会教育委員がネットワークを構築し、情報交換や合同研修をすることの意義を全国から集まる参加者と考える。

第2分科会	人が育つ環境づくり【滋賀県】
テーマ	多世代が共に学び支え合う地域社会の構築 ～「なんとかなる」をみんなでつくる社会教育とは～
概要	大事なのは理想のリーダーや人材がいなくとも、そこに「居合わせ」た人たちのつながりの力(ソーシャル・キャピタル)で「なんとかなる」社会をみんなでつくることではないか。「ここでならなんとかなる」と誰もが思えるまちをつくるにはどうすればよいか、長年の実践者や若手挑戦者の事例をもとに参加者とともに考える。

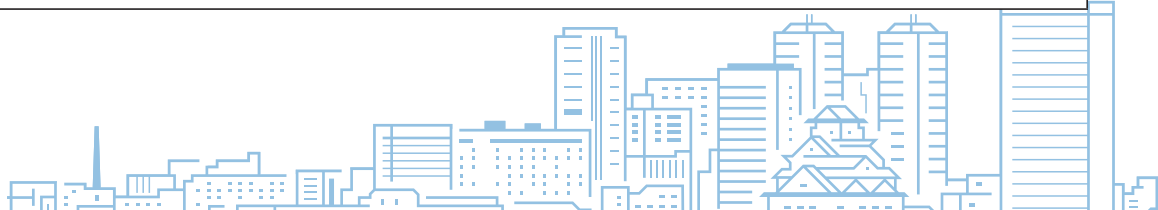
第3分科会	地域と学校の連携・協働【京都府】
テーマ	地域とともにある学校をめざして ～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動への期待と課題～
概要	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進を図る提案を生涯学習審議会と教育委員会が協働で行った。この提案に審議会委員として関わり、又、在住校区小学校のCSコーディネーターである発表者から報告を行い、一体的な推進を図るためにどのような人々を巻き込み、関係構築を図り、どのようなシステムを築き上げる必要があるか、討議を行う。

第4分科会	社会教育人材の育成【奈良県】
テーマ	地域に活力をうみだす社会教育人材の育成 ～社会教育委員と共に地域の活動で成長する若者たち～
概要	地域に活力をうみだすには様々な世代や立場の人たちの主体的な参加が必要である。とくに地域で人々が成長できる「社会教育」の視点をもつ人材が求められるだろう。学生がどのように地域の活動に取り組み、成長していくのか、共に活動している社会教育委員の取組内容と学生自身の声をまじえ発表する。

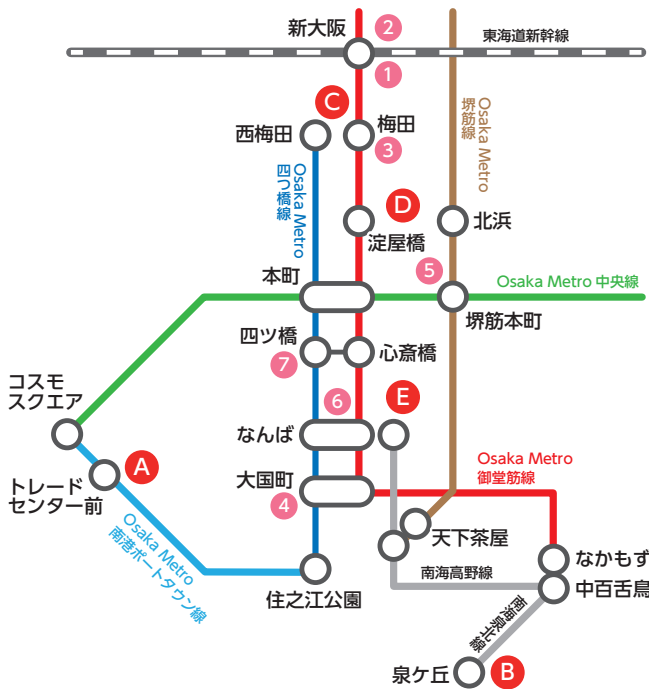
第5分科会	学びの場づくり【和歌山県】
テーマ	「行事」から「事業」への脱却 ～協働による「すこやか橋本 まなびの日」～
概要	和歌山県橋本市は、県内で先駆けて「橋本市の自治と協働をはぐくむ条例」を制定している。モデル事業である「すこやか橋本 まなびの日」に関する事例発表を行い、社会教育委員が「自治」と「協働」を広めることによって地域で育まれる学びの場の重要性について参加者とともに考える。

第6分科会 会場：大阪府立中之島図書館

第6分科会	図書館とまちづくり【大阪府】
テーマ	図書館による学びづくり・つながりづくり ～住民参加の図書館づくり～
概要	図書館の活用を活性化していくためには、学びを提供し、人と人をつなぎ、まちづくりや地域の振興を図る場であることが周知される必要がある。近年、読書離れが問題視されている中、本を読むこと、学ぶこと、伝えることを通して読書がもつ魅力を再確認するとともに、人々が集う場所、つながる場所としての図書館のあり方や魅力について参加者とともに考える。



● アクセスマップ



会場

- A 大阪府庁咲洲庁舎**
大阪市住之江区南港北1-14-16
- B 国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)**
大阪府堺市南区茶山台1-8-1
- C 新梅田研修センター(第1～第5分科会)**
大阪市福島区福島6-22-20
- D 大阪府立中之島図書館(第6分科会)**
大阪市北区中之島1-2-10
- E グレースバリなんば道頓堀店**
大阪市中央区道頓堀1-4-27

ホテル

- 1 新大阪ワシントンホテルプラザ**
大阪市淀川区西中島5丁目5-15
- 2 ワシントンR&Bホテル新大阪北口**
大阪市淀川区宮原1丁目7番10号
- 3 ホテル関西**
大阪市北区兎我野町9-15
- 4 ホテルソビアルなんば大国町**
大阪市浪速区敷津西2丁目2-5
- 5 くれたけイン大阪堺筋本町**
大阪市中央区南本町2丁目2-15
- 6 東横INN大阪なんば**
大阪市中央区難波2-3-9
- 7 東横INN大阪心斎橋西**
大阪市西区北堀江Nishi-ku1丁目9-22

主催

一般社団法人全国社会教育委員連合、近畿地区社会教育委員連絡協議会、大阪府教育委員会、大阪府社会教育委員連絡協議会、第68回全国社会教育研究大会大阪大会実行委員会

後援

文部科学省、京都府教育委員会、滋賀県教育委員会、奈良県教育委員会、兵庫県教育委員会、和歌山県教育委員会、大阪府、大阪市教育委員会、堺市、堺市教育委員会

協賛企業・団体

(令和8年6月11日現在 順不同)

- ・株式会社モンベル
- ・大阪商工信用金庫
- ・堺ヤクルト販売株式会社
- ・株式会社 新梅田研修センター
- ・ヤサカ商事株式会社
- ・プラス株式会社ジョイントテックスカンパニー
- ・大阪府行政書士会
- ・グンゼ株式会社
- ・大谷建設株式会社
- ・成瀬金属株式会社
- ・一般社団法人 田尻町観光協会
- ・株式会社名門大洋フェリー
- ・学校法人西大和学園 和大学
- ・一般財団法人日本気象協会 関西支社
- ・公益財団法人 大阪ユースホステル協会
- ・株式会社 プランニングキュービック
- ・大阪ガスマーケティング株式会社
- ・種谷金属株式会社
- ・一般財団法人 阪大微生物病研究会
- ・ウォータースタンド株式会社